

## 編集後記

東京オリンピックでメダルの期待が高かった水泳選手が白血病になったとの衝撃的なニュースが話題となった。夏目雅子、本田美奈子、市川団十郎、アンディ・フグ、池波正太郎、桂文治など過去に白血病で亡くなった有名人は数多い。一方で近年は渡辺謙、吉井怜など白血病から復帰し、活躍している芸能人もいる。この理由の一つには癌治療薬の進歩が挙げられる。癌免疫を抑制する PD-1 を阻害するオプジーボの基礎研究で本庶佑教授がノーベル賞をとったのもつい昨年のことである。

循環器治療薬の分野でも進歩は目覚ましい。ナトリウム利尿ペプチドから合成されたセンデリチド、ウラリチド、NO-sGC-cGMP 系を標的としたリオシグアト、ベリシグアトなどが、新しい心不全治療薬として、オメカムティブ、メカルビルなど新しい強心薬もその効果が期待されている。非ステロイド骨格の MR 拮抗薬フィネレノン は HFrEF 患者の効果が期待されている。まだまだ小児への応用には時間がかかるかもしれないが、EXCORE など小児の左室補助循環の導入とともにこれら循環器治療薬の進歩にも期待が寄せられる。

(住友直方)